

## 第215回:花の都で中国を思う

旅の楽しみ方は、人によって観光、買い物、飲食等、興味の持ち方が異なるようだが、先週旅行先のパリで大変美味しいレストランに出会った。その日はノルマンディーの奇巖城からバスで長駆400キロ、パリのエバーグリーンホテルにチェックインしたのが夜の9時頃であった。朝からの強行軍で疲労困憊状態のため夕食はホテルのレストランで取ることにした。なかなか雰囲気の良いレストランだが、ほの暗いテーブル席に案内されたのは老眼の身にはやや有難迷惑だった。そうでなくても読みづらい仏語のメニューに難渋していると、その後半部あたりにChinois(シノワ)と書いてあるページを発見した。何とフランス料理と中華料理を同時に提供するレストランのようだ。ここにきて漸くエバーグリーンとは台湾の「長栄海運」、「エバー航空」のエバーグリーン・グループであることに気付いた。面白そうなので、夕食は中華とフレンチの組み合わせでいこうと決めた。筆者が前菜スモークサーモンと生ハム、メインがロブスター中華風炒め、家人が「点心」の盛り合わせに、メインが鴨肉のオレンジソース煮。酒はさすがに紹興酒とはいかないので、紅白のワインとしたが、中華とフレンチの競演はいずれも兄たり難く弟たり難し、淡泊さと濃厚さが入り混じった実に結構な味わいであった。レストランでは中国語の話せるカンボジア人のウェイターと温州(浙江省)出身のウェイトレスと仲良くなり、テーブルの周囲に他の客もいなかったので、フランス料理のマナーを無視して、二人で料理をシェアしながら堪能したのは云うまでもない。

中華料理とフランス料理を交互に食べながらふと思いついたのだが、フランスと中国は実によく似ている。共に唯我独尊の中華思想を持つ大国だから、両国間の親和性も高いはずだ。彼らが世界に誇る長い歴史と高い文化を有していることは、伝統料理を食べてみれば一目瞭然だ。中華とフランス料理は東西の両横綱であり、この料理に合うワインと紹興酒も世界に誇る名酒である。醸造酒だけでなく、蒸留酒にはそれぞれ茅台酒とブランデーがある。中国近隣のベトナム、インドネシア、タイは、みな中華料理の影響を受け、そのおかげで料理の水準は高いが、世界に誇れる自国の酒がないのは画竜点睛を欠いている。

パリの街並みは美しい。石灰岩造りで高さがきちっと揃った建築物がブロック状に並んでおり、プラタナスとマロニエの石畳によく調和している。フランスの近代史は戦火の連続であり、パリ市も普仏戦争や二度の世界大戦に遭遇しているが、敵とちょっと戦って、こりゃ勝てないと悟ったら、あつという間に降参してしまうので、美しい街並みが昔のままに保存される結果となっている。

そもそも美味しい料理に恵まれた国で、軍事大国は少ないというが、この点も中国とフランスは共通している。イタリアも中仏の仲間に加えて良いだろう。豊かな農産物や海産物に恵まれ、宗教的にも暖衣飽食の生活に寛大なカトリック文明諸国は、厳しい気候のなかで食料を求め、眉間に皺を寄せながら必死になって生きているプロテスタント諸国には勝てないようだ。この点、中国はキリスト教と深い関係はないが、戦争で勝った例が少ないと云う意味で仏伊とよく似ている。だいたい料理が不味い少ないと文句を云い、雨が降ってきたから傘を差して行軍しようなんて将兵が戦闘で勝てるわけがない。逆に、料理が不味いが故に戦争に強いという国は、英・独・米・露と枚挙に遑がない。

歴史的に見てフランスが周辺のイギリス、ドイツ等と争って勝利を収めたケースは少ないが、それだけで

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

はない。欧米の列強が弱いはずのアジア新興国と戦って敗れた例として、近代史では日露戦争が挙げられるが、現代史ではフランスがインドシナ戦争でベトナム軍にディエンビエンフーで降伏したお粗末な(ベトナムにとっては輝かしい)例がある、フランスが強国に勝利を収めるためには、神から遣わされたジャンヌダルクや、天才ナポレオンの出現に俟たねばならないのである。その大ナポレオンの甥は、ナポレオン3世と云う輝かしい名前を冠しながら、普仏戦争の最中に腎臓結石が悪化して動けず、プロシヤ軍の捕虜となっている、いやはや何とも云いようがない。中国も戦に弱いことでは有名だ。中国数千年の歴史のなかで、常勝将軍はアッティラ大王(阿提拉大帝)と、チンギスハーン(成吉思汗)くらいだ。彼らが中国人か、内モンゴル人か、外モンゴル人か、はたまた西域人か不詳だが、チベットやウイグルどころか、尖閣諸島も南沙諸島までも「俺のものだ」と叫んでいる中国共産党の習近平総書記からみれば、アッティラ大王だって中国人だと云いかねないだろう……たぶん。

急に低次元の話題に移るが、トイレが汚いのも中国とフランスは共通している。今回の旅行は「世界遺産歴訪の旅」でありモンサンミッシェル、シャルトル大聖堂、ベルサイユ宮殿等を巡り、その壮麗な伽藍や庭園には息を呑み、感嘆これを久しうするのみであったが、その豪華絢爛たる観光地のなかにある観光客向けトイレの不潔な様にも息を呑んだ。便器はあっても便座がないとはこれいかに。聞くところによるとフランス人は、便座がなければ中腰でウンコするらしいが、寄る年波で足腰の筋肉が落ちている日本人の中老年層にはまず使えないね。もっともフランスの廁事情は今に始まった話ではなく、ルイ14世のころのベルサイユ宮殿にはトイレがなく、当時の貴婦人のドレスの裾が広がっていたのは、下にオマルを置いて立ったままで小用を足す必要があったからだ。フーテンの寅さんの口上ではないが、「粹な姐ちゃん立ちXX」だ。ベルサイユ宮殿の通路で貴婦人方が糞尿を踏みつけよう、ハイヒールが発明された所以である。世界で最も清潔さを重んじる日本人は「トイレは汚い、だからきれいに掃除しよう」と考えるが、フランス人や中国人は「トイレは汚い、だからそのままにしておこう」と云う発想なのかな？

糞尿譚のウンチクはここまでにして、パリの最終日に市内から集合場所のホテルに戻るタクシーで、不良運転手にメーターを細工され、€17のところ、€27請求された。文句を云っても埒が明かないので、領収書を書かせ金を払い、車から下りてデジカメでナンバープレートの写真を撮っていたら慌てて€10返しに来た。この小狡さ、小心さは上海の悪徳運転手そのものだ。両国の親和性が高いのに改めて驚くと同時に、上海のセコイ運転手に鍛えられてきた身に、フランスの小悪人なんてチョロイものだと思った。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年4月15日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040